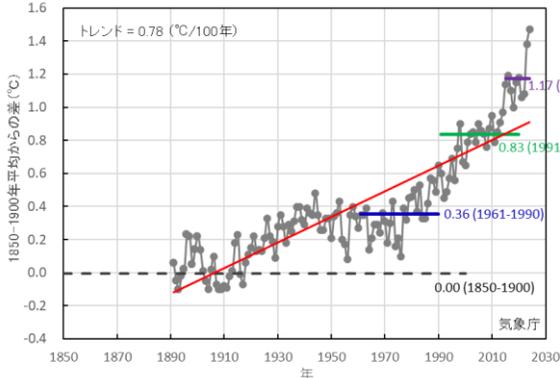
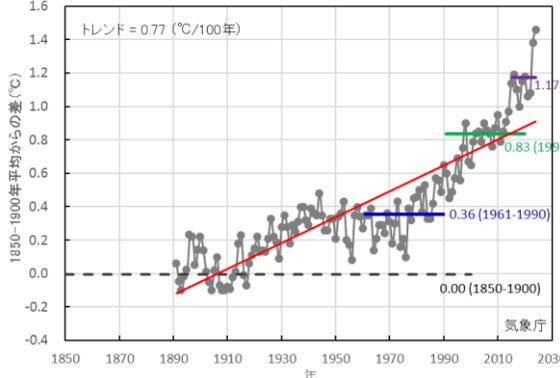


『日本の気候変動 2025 —大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書—』（本編）正誤表（2026年2月16日更新）

修正日	対象	正	誤
2025年 6月17日	第2章 図2.2(e)及び(f) 図中 (p. 15)	20世紀末 (<u>1986～2005</u> 年)	20世紀末 (<u>1980～1999</u> 年)
	第2章 図2.2 キャプション (p. 15)	緑 <u>点</u> 線：20世紀末における観測値を示す。21世紀末の値は、20世紀末の観測値（緑 <u>点</u> 線）に予測値を加算又は乗算したもの。	緑線：20世紀末における観測値を示す。21世紀末の値は、20世紀末の観測値（緑線）に予測値を加算又は乗算したもの。
	第5-1節 脚注43 (p. 36)	1875年 <u>6</u> 月の統計開始以降、…	1875年 <u>5</u> 月の統計開始以降、…
	第9-1節(2) (p. 60)	[日本] 気象庁では、国土地理院と連携して日本沿岸の13地点の検潮所にGPS観測装置を <u>2003年以降に</u> 設置し、	[日本] 気象庁では、 <u>2004年以降</u> 、国土地理院と連携して日本沿岸の13地点の検潮所にGPS観測装置を設置し、
	第9-2節(2) (p. 63)	もともと自然変動の大きな領域であり、モデルの不確定な要素も多いことから、 <u>確信度は低い</u> 。（詳細編第 <u>9.3</u> 節）	もともと自然変動の大きな領域であり、モデルの不確定な要素も多いことから、 <u>確信度は低い</u> 。（詳細編第 <u>9.2.2</u> 項）
	第11-1節(1) (p. 67)	[世界・日本] 地球温暖化による長期的な平均海面水位の上昇（第9章参照）で、高潮と高波による沿岸部の浸水リスクはより高まる。（詳細編第 <u>11.1～11.4</u> 節）	[世界・日本] 地球温暖化による長期的な平均海面水位の上昇（第9章参照）で、高潮と高波による沿岸部の浸水リスクはより高まる。（詳細編第 <u>11.1節</u> 、 <u>詳細編第 11.3</u> 節）

<p>2025年 6月17日</p>	<p>第11-1節 図11-1.1 (a) キャプション (p. 67)</p>	<p>1960年代以前から観測している気象庁の検潮所50地点で各年に観測された高潮（潮位偏差）の最大値（1 m 以上）を示す <u>（痕跡に基づく推定値も含む）</u>。</p>	<p>1960年代以前から観測している気象庁の検潮所50地点で各年に観測された高潮（潮位偏差）の最大値（1 m 以上）を示す。</p>
<p>2025年 12月24日</p>	<p>第4-1節 図4-1.1 (p. 26) ※2024年の値、トレンドの値および赤直線を修正</p>		
<p>2026年 2月16日</p>	<p>第9-1節 脚注64 (p. 61)</p>	<p>90%の信頼区間は、<u>1.5</u>～<u>5.2</u> mm である。</p>	<p>90%の信頼区間は、<u>1.1</u>～<u>5.6</u> mm である。</p>